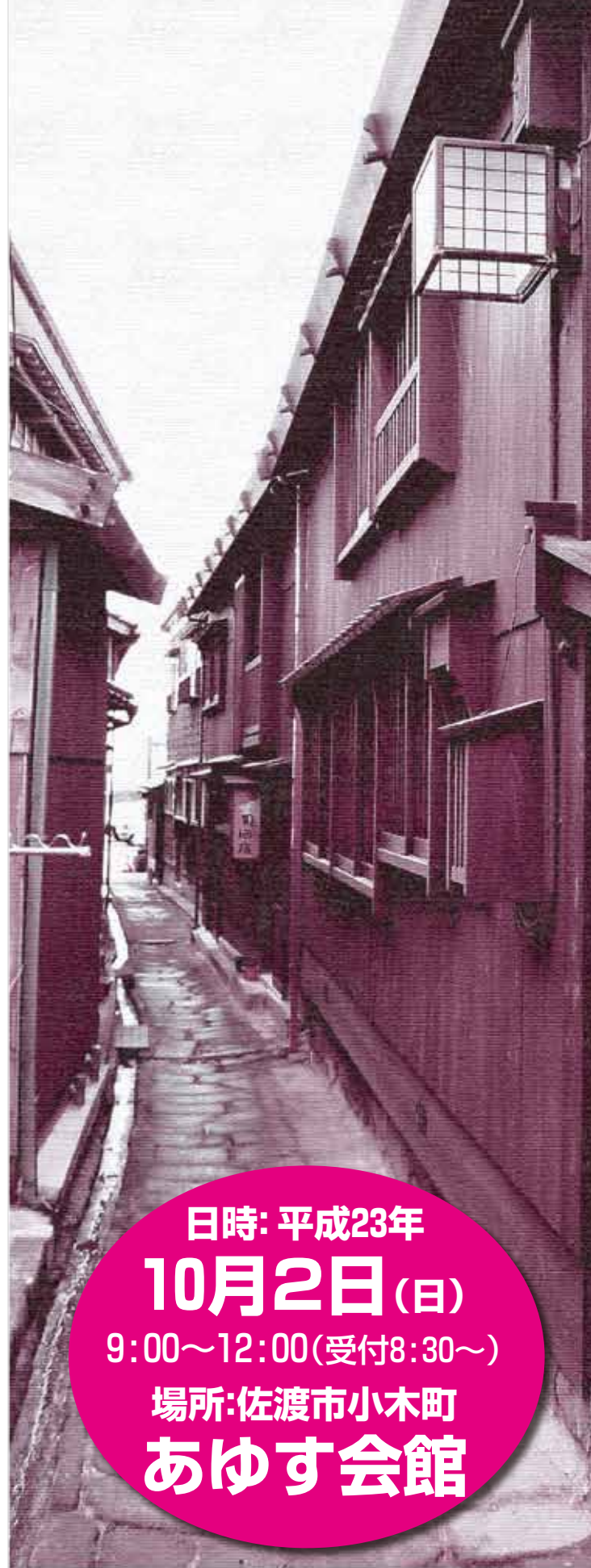


重要伝統的建造物群保存地区 『宿根木』

これまでの歩みと
未来への展望

千石船の里『宿根木』は、平成3年4月に重要な建造物群保存地区に選定され、今年で20年を迎えました。多くの観光客が訪れ歴史を活かしたまちづくりを進める一方、過疎高齢化は年々深刻さを増しています。この問題は宿根木に限らず佐渡全体に関わるものです。集落を愛し住み続けていくための方法、未来への展望を考えます。



日時: 平成23年
10月2日(日)
9:00~12:00(受付8:30~)
場所: 佐渡市小木町
あゆす会館

◆基調講演 9:20~

『いつまでも生き続けるための観光まちづくり』

長岡造形大学理事長 豊口 協 氏

◆パネルディスカッション 10:30~

『宿根木のこれまでの歩みと未来への展望
~町並みを守り・活かす方法~』

パネラー: 長岡造形大学理事長 豊口 協 氏
元文化庁建造物課長 宮澤 智 士 氏
宿根木を愛する会会長 濱田 嘉 夫 氏
(株)TEM研究所所長 真島 俊 一 氏
風待ちの会代表 中野 奈美子 氏
岐阜県白川村教育委員会 松本 継 太 氏
コーディネーター: 北前交易研究所 高藤 一郎平 氏

関連
イベント

ミニ写真展『宿根木の町並みの歩み』ほか
平成23年10月1日~12月27日 宿根木 中島の土蔵内

- 主催/宿根木を愛する会 ○共催/宿根木自治会
- 後援/佐渡市、佐渡市教育委員会、小木町商工会、佐渡観光協会、風待ちの会、長岡造形大学、佐渡まちなみネットワーク、小木ふれあいガイドの会

